

2025年度 法学研究科入学試験問題（後期博士課程）

民事法学・公法学専攻（英語）

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

以下の英文を和訳しなさい。

(Marbury v. Madison, 5 U.S. 137 (1803), 176-178)

答案用紙別紙

2025 年度 法学研究科入学試験問題（後期博士課程）

政治学専攻（英 語）

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

次の英文を日本語に訳しなさい。

(出典 : Edward Hallett Carr, *The Twenty Years' Crisis, 1919-1939: An Introduction to the Study of International Relations* (New York: Perennial, 1964), pp. 119-120.)

(注) 一部修正してある。

2025 年度 法学研究科入学試験問題（後期博士課程）

民事法学・公法学専攻（ドイツ語）

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

以下の文章は、*Markus Wagner, Die Bedeutung von (Criminal) Compliance-Maßnahmen in der aktuellen deutschen Rechtspraxis – ein Überblick*, in: *Zeitschrift für Internationale Strafrechtswissenschaft* 2023, S. 124 ff. から抜粋された文章である。この文章を最後まで読み、何について論述されたものであるかを全体的に把握・理解した上で、和訳しなさい。

2025年度 法学研究科入学試験問題（後期博士課程）

民事法学・公法学専攻（日本語）

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

翻訳に関する以下の文章を読み、問いに答えなさい。

- 問一 傍線部①はいかなる意味か、説明しなさい（五〇十行程度）。
- 問二 傍線部②はいかなる意味か、説明しなさい（五〇十行程度）。
- 問三 傍線部③のように言える理由は何か、推測して説明しなさい（五〇十行程度）。

（和田忠彦「声をさがしつけて」岩波書店編集部編『翻訳家の仕事』（岩波書店、2006年）所収より。出題に当たり、構成及び表記を一部改めている。）